

研究連携会議での検討テーマ（文部科学省案）

1.

研究開発目標（案）

『世界の先を見据えた革新的な人工知能技術の開発及びこれらを活用したサイエンスの革新と社会実装への挑戦』

研究重点方針（案）

産業界の研究開発を加速・事業化を誘発し、我が国に「稼げる仕組み」をつくるため、将来に向けた基礎理論を構築しながら、日本が強いテーマ（例：ものづくり、再生医療、材料分野等）を組み合わせた研究に力点を置いた研究開発を行う。

研究計画（案）

【各省で重点的に取り組んでいる研究領域】

● 総務省

- ・脳情報通信
- ・音声認識、多言語音声翻訳
- ・社会知解析
- ・革新的ネットワーク

● 文部科学省

- ・基礎研究
- ・革新的な科学技術成果の創出
- ・次世代の萌芽的な基盤技術の創出
- ・大型計算機資源、人材育成

● 経済産業省

- ・応用研究、実用化・社会への適用
- ・標準的評価手法等の共通基盤技術の整備
- ・標準化
- ・大規模目的研究

⇒ 3省の研究機関で実施される研究テーマをロードマップに整理し、随時更新していく（P. 5 参照）

連携テーマ（案）

- ・理論研究（例：統計的機械学習、自然言語処理）
(NICT-AIP-AIRC)
- ・実証研究（ビッグデータと人工知能を活用した生活知能技術）
(NICT-AIP-AIRC)
- ・脳研究と脳型人工知能・ニューロインフォマティクスでの連携
(NICT-理研-産総研)
- ・生命科学・医学・情報学での連携（創薬や医療診断）
(理研-産総研)
- ・材料開発への計算機科学の応用における計測技術を含めた連携
(理研-産総研)

⇒ 3省の研究機関で連携して実施するテーマを 5 ~ 10 程度具体的に選定する

2. 国内外の研究動向の把握・分析

⇒ J S T 研究開発戦略センター（C R D S）/ N E D O の本年度の研究において実施。

3. 研究インフラ整備

⇒ 3省の機関で整備予定の設備及び現在有する設備等についての情報を集約。

4. 研究進捗のフォローアップ